

暁

入学進級おめでとう

4月

“つなげる・かかわる”学び、協働的・探求的な学びで 世界を広げる ～ Improving Interactive Output Skills ～

校長 佐藤 智子



3月13日、第五回卒業証書授与式が行われました。卒業生が歌った「My Way」「花は咲く」の2曲は、心に響く立派な歌唱でした。私は式辞の中で歌詞を取り上げ、卒業生の気持ちと重ねましたが、「花は咲く」には次のような歌詞があります。「叶えたい夢もあった 変わりたい自分もいた」 今日から始まる新学年。子ども達の心の中は、「叶えたい夢」や“変わりたい自分”でいっぱいです。新年度は、子どもにと

暁星国際学園 学園歌 詞：谷川 俊太郎

- (1) 暁の星の光が 青空に溶け込むように
一人一人の行いが 歴史の今日に流れ込む
(2) 国々を風は巡って 人々の心を開く
母なる言葉胸に秘め
世界の明日を見つめよう

っても大人にとっても、これまでの自分から違う自分、変わりたい自分になろう、なれるように頑張ろうと思う節目です。新たな仲間、新たな先生との出会いがあり、新たな気持ちで登校(入学)した児童を、我々教職員はしっかりと受け止め、“つながり、かかわり”たいと思います。また、式辞では学園歌の歌詞の一部を引用しました。「一人ひとりの毎日の行いが歴史を作っていく」という生き方をしてほしい、「いろいろな国々を知り、世界の明日を見つめる」広い視野を持ってほしいという願いが込められていると伝えました。

今年度のグランドデザインは、そんな願いや昨年度の児童への学校評価アンケート結果などを踏まえています。アンケートでは、児童の評価で「日本語でアウトプットする力がついてきた」「英語でコミュニケーションする力がついてきた」が下がり、保護者の方が「お子様に身に付けてほしいこと」として多かったのは、***英語のスピーキング力*英会話力*自分で考える力、*自分の考えをアウトプットする力*思いやり*他者(相手の立場)理解*自分も他の人も大切にすること**で

した。また、現学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の実現を目指しており、協働的・探求的な学びを重視しています。そこで、テーマを“つなげる・かかわる”学び、協働的・探求的な学びで **世界を広げる ～ Improving Interactive Output Skills ～** としました。

「つなげる・かかわる」は四つの視点があります。①**今の学習と、前の学習や次の学習とつなげる(見通す・振り返る力)** ②**様々な教科や活動とつなげる(教科横断的学習・カリキュラム・マネジメント)** ③**日本と世界をつなげる(Learning Theme)** ④**異文化・異学年・異質な他者とのかかわる(国際理解教育**

・異学年交流・福祉教育)「Learning Theme」は、各学年の学習内容や発達段階を考慮し、左上のように設定しています。このテーマを意識した(あらゆる教科での)授業作りや活動、行事等に取り組み、年間を通して児童の学びをつなぎ、関係づけ(カリキュラムマネジメント)、児童の世界を広げていけるようにします。この四つの視点を持った教育活動については職員研修も継続的に行っており、教科間や学年間、横や縦の学びの“つながりやかかわり”を見通したり振り返ったりしています。また、「特別な外国語活動」についてさらに多種多様に展開すべく準備を始めており、保護者会にて詳しくお知らせいたします。



この一年間、児童の学びがより確かに、より豊かになるよう職員一同力を合わせて取り組んで参ります。

お知らせ

- ① 4月5月の行事予定は3月にお知らせした通りです。本日配布の年間行事予定表もあわせてご覧ください。
- ② 本年度より、スクールカウンセラーと学校司書を毎週金曜日に配置しております。
スクールカウンセラーは、保護者の皆様のお話を聞きながら困っていることや悩んでいることを整理し、どうしたらいいのか一緒に考えていきます。運用等の詳細につきましては4月中旬に配布する「スクールカウンセラーだより」でお知らせいたします。
学校司書は、学校図書館の運営や整備、学習や利用の支援、読書指導などを行う専門職です。後日、「学校図書館だより」を発行する予定です。

Plus Haut!

より高く!

令和7年度 暁星国際流山小学校 グランドデザイン

本校教育理念 心身ともに新時代をたくましく生き抜く国際人を育てる の実現を目指して

“つなげる・かかわる”学び、協働的・探求的な学びで 世界を広げる ～ Improving Interactive Output Skills ～

A 今を見つめ、未来を切り拓く

① 世界とつながる未来のために・・・

★英語力を高め、インタラクティブな言語活動を通して実生活につながる英語力を身につける。

★多様で継続的な「特別な外国語活動」によって、外国語に慣れ親しむ。

② 日本と世界の「今」を見つめるために・・・

★「Learning Theme」に沿って教科横断的に学ぶことにより、日本と世界を知ることの大切さや、地球市民として世界とつながる自分を実感する。

★カリキュラム・マネジメントにより、それぞれの学びをつなげ、主体的で探求的な学びを実現する。

③ 日本語力を高め、思考力・判断力・表現力の基盤をつくるために・・・

★国語科において、言葉の使い方を身につけ、言語感覚を磨き、語彙力を高める。

★協働的な学びによって、考えを広げたり深めたりしながら自分の意見を持ち、相手に伝わるアウトプット力を身につける。

★外部講師の積極的な活用や出前授業により、気づきを促し、思考力を育てる。

B 自分を見つめ、心身の充実をはかる

① よりよく生きていくために・・・

★異学年交流や自治的活動の活性化により、主体的にかかわる力や多様な他者と協働する力を育てる。

★国際人としての素養を身につけられるよう、国際理解や異文化理解を促す取組をする。

★福祉教育やキャリア教育、道徳教育の充実により、自分を振り返り、よりよく生きていく姿勢を養う。

★日本の伝統文化や芸術に親しみ、豊かな感性や情操の涵養につなげる。

② 読書に親しみ、感性を磨き、想像力を高めるために・・・

★さまざまな教科や委員会での取組を工夫することにより、読書の大切さや楽しさを知り、感性や想像力を高める。

★読書推進活動(「Ticket to World」「Raz Kids AZ」「Reading week」)への取組を活性化する。

③ たくましく生き抜く体力をつけるために・・・

★体育の授業や体育的行事への取組を工夫し、体力向上につなげる。

★体育委員会が主体となり、全校的な取組(リセスラン・Jump Rope Challenge・Gyousei Physical Power Up Time など)に取り組む。